

ふるさと歴史散歩

〔第166回〕松崎八幡宮址

その八



今から305年前の正徳二（1712）年に書かれた府中村のすべての寺社を調査した記録「安芸郡府中村寺社堂古跡帳」に、多家神社一社、その境内に八幡別宮一社、宝物に邯鄲枕、獅子頭鏡、硯、縁起二巻とある。このほか八幡社境内には、玉勝院・神前坊・神力院・法寿坊・行専坊の五ヶ寺があり、この時代は神仏習合の信仰であったことが分かる。また、この記録から多家神社が八幡別宮境内にあることが分かる。

のかは不明であるが、おそらく、江戸時代中期に中国の故事に精通し、遊び心ある人が持ち込んだのだろう。

邯鄲枕について語る。邯鄲は、中国戦国時代の七雄の一つ趙国の首都で、「胡服騎射」の故事など由緒ある古い都だ。邯鄲枕は「邯鄲の夢」や「邯鄲一炊の夢」や「盧生の夢」の故事で有名である。もともと、この故事は唐代に奇妙な話を集めた「枕中記」に登場するから、かなり後世に創られた物語である。

とここで、「藝州府中莊誌」

の説明には、邯鄲枕は、淡黄色の釉薬に唐草模様の中空の陶器とある。八幡社の三宝（邯鄲枕、獅子頭鏡、硯）は、言い伝えでは、神功皇后が三韓征伐の際に戦利品として持ち帰ったものという。日本では馴染みが薄い中国では磁州窯や景德鎮で焼成された陶磁器製の枕が出土しており、博物館に展示されている。大変有名で、珍品の邯鄲枕が、どんな経緯で八幡別宮に入った

あらずしは、「盧生」という若者が立身出世を志して邯鄲で宿をとった。宿屋の亭主が高梁飯を炊く間、盧生は同宿の老人（仙人）から青磁の枕を借りて眠ってしまった。彼は美女と婚姻し、科挙（超難関の高級官吏登用試験）に合格。知事、検事総長を歴任し、最後は位人身を極め、燕国公（貴族）に封ぜられる。子供や多くの孫にも恵まれ、80歳で亡くなるという

人生を送ったつもりとなったが、あくびして目覚めると、実際には元の宿にいて、側に老人が座っている。しかもまだ飯は炊けていない。盧生が「なんだ夢だったのか」と言うと老人は「人生とはそんなものよ」と教えた。そこで、盧生は立身出世というものはかないものと悟り、老人に礼を述べて立ち去った」という話である。何か教訓めいた話だが、八幡別宮に有ったといわれるお宝で、素晴らしい夢が見られる伝説の邯鄲枕を一度拝見したいものだ。また、八幡社のお宝伝説として大切にしたいものだ。



（府中村寺社堂古跡帳）

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

消費生活相談

〓 架空請求メールなどにご注意下さい〓

相談内容



夫のスマートフォンに「有料動画の閲覧履歴がある。本日に連絡がない場合は法的措置に移行する」という内容のショートメッセージ（SMS）が届いた。夫が記載されていた電話番号に電話をすると、「請求を取り下げるのには5万円必要。コンビニで5万円分のギフトカードを購入して、番号を教えるように」と言われた。相手は大手のインターネット会社を名乗っている。今後どのようにすればよいか。

（50代 女性）

アドバイス



同様の相談が多数寄せられていることを情報提供し、身に覚えのない請求については、相手にせず、無視するように助言しました。

【対処のポイント】

◆身に覚えのない請求や心当たりがあっても不審な請求のときは、相手に連絡をしないように

しましょう。

詐欺業者に連絡すると、自分の電話番号やメールアドレスなどの情報を教えてしまうことになり、その後、更なるトラブルに巻き込まれる可能性もあります。

◆業者に指示されても、プリペイドカードを購入したり、カード番号などを伝えたりしないようにしましょう。

コンビニなどでプリペイドカードを購入するよう指示されたり、カード番号を教えるよう指示されたりした場合は、詐欺の可能性が高くなります。騙し取られたことに気がついて、被害を回復することは困難です。困ったり、不安を感じたりしたときは、府中町消費生活相談コーナーに相談してください。



消費生活相談員による
相談コーナー

町民生活課（役場4階）

☎286-3128

月～金曜日

午前9時～正午

午後1時～4時